



NSN 通信 Vol.14 2024.2

Nursing Students from Niigata

＜発行＞高等教育コンソーシアムにいがた
看護系タスクフォース 第14号担当



新潟薬科大学

Niigata University of Pharmacy and Medical Life Sciences



新潟薬科大学に看護学部が誕生しました。新潟県内外から1期生が入学し、伸び伸びと学生生活をエンジョイしています。

1期生の皆さんから後輩へのメッセージを伝えます。

基礎看護学教員 川崎久子



友人とともに過ごす学生生活

1年次は講義がメインになります。看護学以外にも一般教養の科目を幅広く講義を受けます。前期は講義が詰まっていなかったため、学生生活になれることに集中してとりくみ、友人作りに励みました。後期になって医療系科目も増えレポートに追われていますが友人と励まし合い、協力し合うことで乗り越え、とても充実した学生生活を送れることができていると思います。

看護学部1年 高澤 美来



サークル活動のやりがい

看護とはなにか、看護していくうえでの必要な心構えなど学修しています。まだ、学習している途中ですが、自分でもとても成長しているなという実感があります。さて、看護の勉強も楽しいですが、大学と言えばやはりサークルは外せませんよね。私は、学友会執行委員会（高校でいえば生徒会）に入っています。本格的な仕事がありやりがいがあるので、是非参加してください。

看護学部1年 斉藤 翼



病院実習での成長

初めての病院実習では、看護師に同行して病室を回りました。わからないことが多くありましたが、その場で看護師に尋ねてメモを取り調べるなど有意義な実習が行えました。グループカンファレンスでは、学生同士で情報交換や意見交換をする中で新たな気づきがありました。病院実習は、自分の持っている知識を発揮することができる学習だと思います。

看護学部1年 大屋 美結



多くの経験と多くの学び

初めての实習では不安や緊張がありましたが、先生や同級生の存在もあり、だんだん自然体で実習に臨むことができました。大学では、サークルに入り、他学部の先輩方とも関わりを持つことができました。大学生活では、勉強だけでなく、新しい友達との出会いや学校行事など楽しいことが様々あります。多くの経験を通して多くの学びを得てほしいと思います。

看護学部1年 小嶋 聖



高等教育コンソーシアムにいがた 看護系タスクフォース
新潟薬科大学担当（教務第二課 布川 和明）TEL:0250-25-5000

